

平成30年7月23日

## 水防技術を高め、自ら地域を守ります

### ～後志利別川水防工法現地講習会を開催～

函館開発建設部では、近年の全国的な水害の多発に鑑み、水防団員の水防技術の向上及び伝承を図り、出水時における水防活動が円滑に実施されるよう、後志利別川において講習会を実施します。

後志利別川では、平成9年から3年連続で洪水被害が発生し、地域の自衛意識が高まったことを契機に、平成11年から水防訓練を実施してきました。

18回目を迎える今年は、「後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会」の構成員等が参加し、出水に備え、水防工法を実習していただきます。

#### 記

- 1 日 時 平成30年7月26日（木）9：00～11：30  
（小雨決行）
- 2 場 所 瀬棚郡今金町字今金地先 後志利別川右岸高水敷（KP15.8）  
（今金水門上流右岸の河川緑地運動公園） 【別紙参照】
- 3 主 催 函館開発建設部 今金河川事務所
- 4 参加者 「後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会」の今金町、せたな町、檜山広域行政組合今金消防署、檜山広域行政組合せたな消防署、今金河川事務所、災害協定会社（5社）、函館建設管理部今金出張所、函館開発建設部のほか、函館開発建設部管内の流域外市町  
約60名

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 今金河川事務所

所 長 <sup>あき</sup>秋 <sup>やま</sup>山 泰 祐（電話番号 0137-82-0041 内線 20）

河 川 課 長 <sup>ちょう</sup>蝶 <sup>の</sup>野 誠 一（電話番号 0137-82-0041 内線 31）

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



# 水防工法現地講習会概要

## ○後志利別川水防工法現地講習会 ※実施状況は過年度の写真

水防工法現地講習会は、災害時に迅速かつ的確な水防活動を実施するために、個々の水防技術の向上と若い世代への伝承を目的として、被災要因別の代表的な水防工法の実技講習を行います。



改良積土のう工  
(杭省略型)



シート張り工



月の輪工

### ◆当日実施される水防工法

#### ・改良積土のう工(杭省略型)

目的: 越水防止

堤防の上に土のうを積み上げ、防水シートを使って水が堤防を越流するのを防ぐ工法です。水防工法の基本とも言えるこの工法は、越流水深に応じて、3段積み、4段積み、5段積みがあります。

#### ・シート張り工

目的: 法崩壊及び透水防止

水の流れて堤防が削り取られたり、水が漏れたりしないように、防止シートを張り、端部に土のうをくりつけて安定させ、堤防を守ります。

#### ・月の輪工

目的: 浸透水の圧力を弱める

堤防の住居側に水が漏れ出したとき、半円形に土のうを積んで、川の水位と漏れた場所との水位差を縮めて圧力を弱め、水漏れが広がるのを防ぎます。

後志利別川では、平成11年8月の洪水時に、この工法が実施されています。

#### ・木流し工

目的: 堤防の川側が崩れることを防ぐ

川側斜面に投入した樹木の抵抗力により、堤防表面の河川流速を低減させ、深掘れ(洗掘)の進行を抑えます。

後志利別川では、平成24年4月の斜面崩落時や平成29年9月の出水に、この工法が実施されています。

## ○実施場所

平成30年7月26日(木)9:00~11:30

瀬棚郡今金町字今金地先 後志利別川右岸  
高水敷(KP15.8)  
(今金水門上流右岸の河川緑地運動公園)



現地講習会場